

JAL、深夜臨時便で沖縄から菊花を輸送

～生産者の皆さまの「想い」を載せて～

2017 年 12 月 26 日

JAL は 12 月 21 日(木)と 12 月 24 日(日)の 2 日間、深夜時間帯に当社が所有する最大型機であるボーイング 777-300 型機を臨時便運航し、那覇空港から羽田空港へ菊花を輸送しました。

沖縄では例年 12 月中旬から下旬にかけて、正月用菊花の出荷がピークを迎えます。この時期の国内菊花需要の 9 割近くが沖縄県で栽培されており、急激な需要の高まりに応えるために航空輸送が活用されています。

JAL は、沖縄を代表する菊花生産者の組合である JA おきなわ(沖縄県農業協同組合 大城勉理事長)、太陽の花(沖縄県花卉園芸農業協同組合 宮城重志組合長)と契約し、菊花生産者の皆さまが一本一本大切に育てた約 4 千ケース(約 94 万本)の菊花を輸送しました。羽田空港に輸送された菊花は主に大田市場をはじめ、首都圏内の市場を通じて消費者の方に届けられました。

JAL はこれからもお客さまの「想い」を運び続け、地域の発展に貢献できるよう高品質なサービスをご提供してまいります。



JA おきなわ: (左から)平安山部長、赤嶺さん



太陽の花: (左から)黒島課長、内原係長、比嘉部長